

平成26年2月13日（木）

国土交通省 関東地方整備局 常総国道事務所
東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸工事事務所

記者発表資料



圏央道により茨城県と千葉県が繋がります ～圏央道の稲敷IC～^{いなしき}神崎IC^{こうさき}間が開通します～

国土交通省関東地方整備局と東日本高速道路株式会社が共同で事業を進めている国道468号首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の稲敷ICから神崎IC間が開通することになりましたので、お知らせします。

■稲敷ICから神崎IC間

○開通日 平成26年4月12日（土）

○延長 10.6km

※開通時刻、開通式典の概要及び開通区間の料金については、後日お知らせします。

※開通に先立ち、地元の地方公共団体がプレイベントの開催を予定しています。

今回の圏央道（稲敷IC～神崎IC）の開通により、茨城県と千葉県が繋がります。

また、圏央道が順次開通することにより、広域ネットワークが形成され、郊外から都心部への交通を分散導入し、都心の交通混雑の緩和、災害時の道路ネットワークの強化などが期待されます。

引き続き、残る区間についても早期開通に向け整備を進めていきますので、ご理解とご協力をお願いします。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、茨城県政記者会、千葉県政記者会

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局常総国道事務所	電話	029-826-2040（代表）
副所長	金子 剛	計画課長 佐藤 潤
東日本高速道路株式会社関東支社広報課	電話	03-5828-8347

圏央道開通区間概要

●首都圏中央連絡自動車道（圏央道）は、首都圏の道路交通の円滑化、沿線都市間の連絡強化等を目的とした都心から半径およそ40～60kmの位置に計画されている総延長約300kmの環状の自動車専用道路です。現在までに約170kmが開通しています。

●今回開通区間の概要

路 線 名：国道468号首都圏中央連絡自動車道（圏央道）

○開 通 区 間：稲敷IC（茨城県稲敷市沼田）～神崎IC（千葉県香取郡神崎町松崎）

○開 通 日：平成26年4月12日（土）

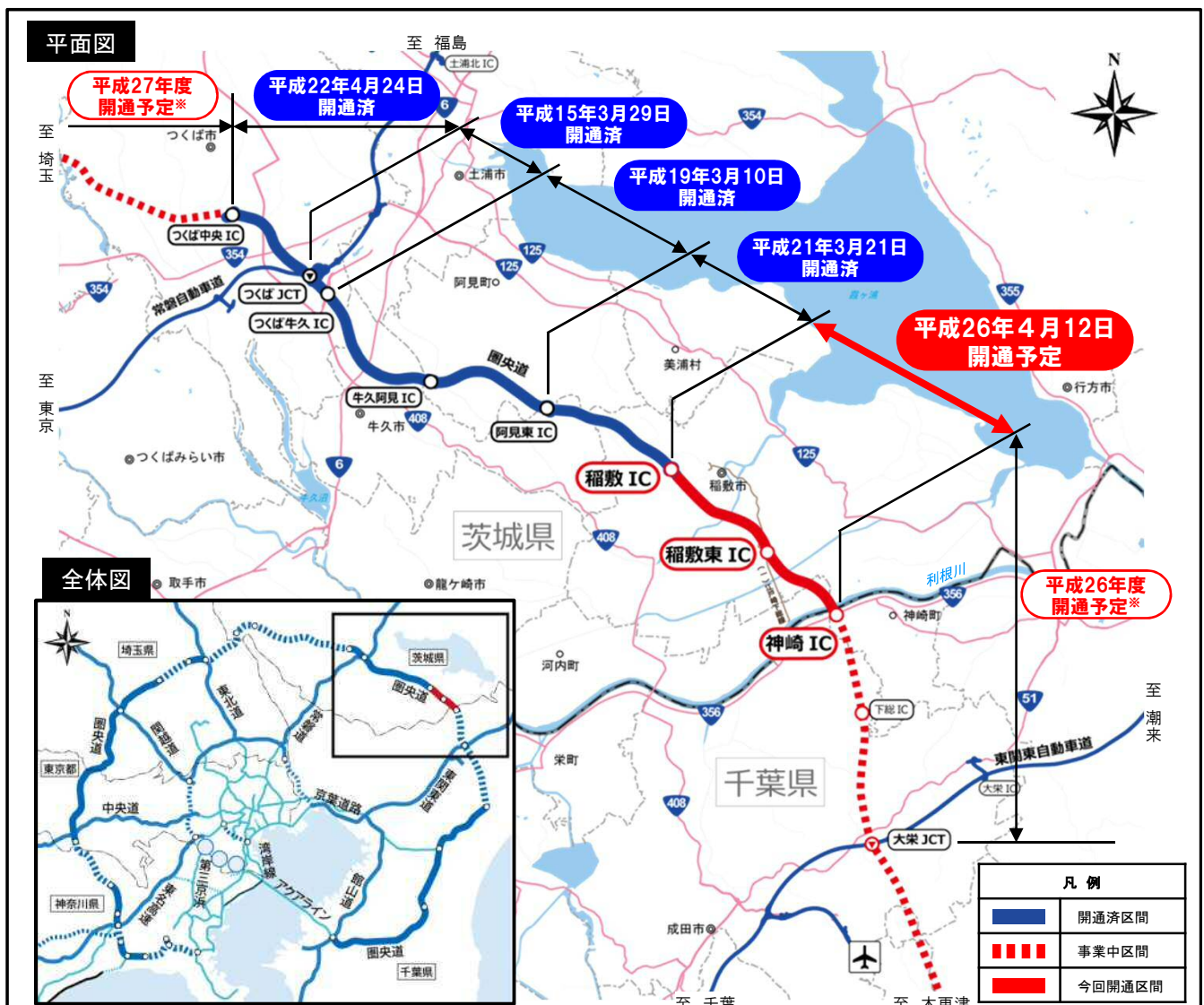
○延 長：10.6km

○車 線 数：暫定2車線

○開 通 IC：稲敷東IC、神崎IC

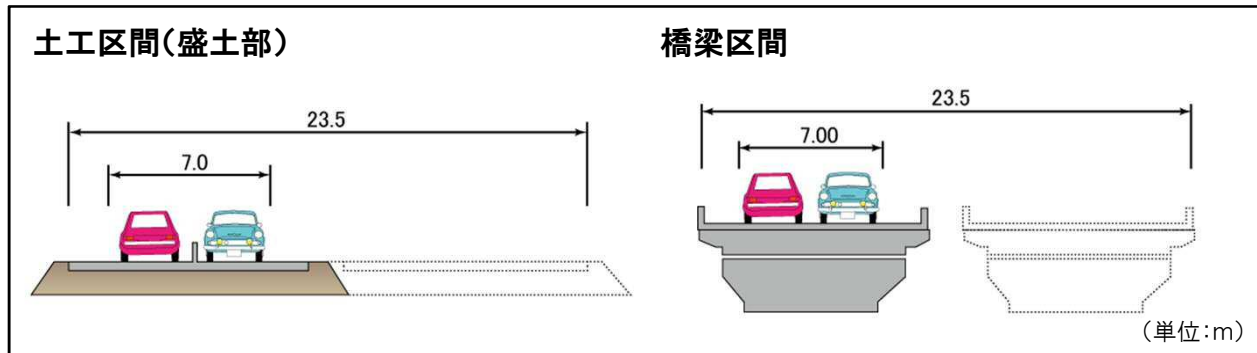
○アクセス道路：（一）江戸崎下総線、国道356号

■今回開通区間の位置図

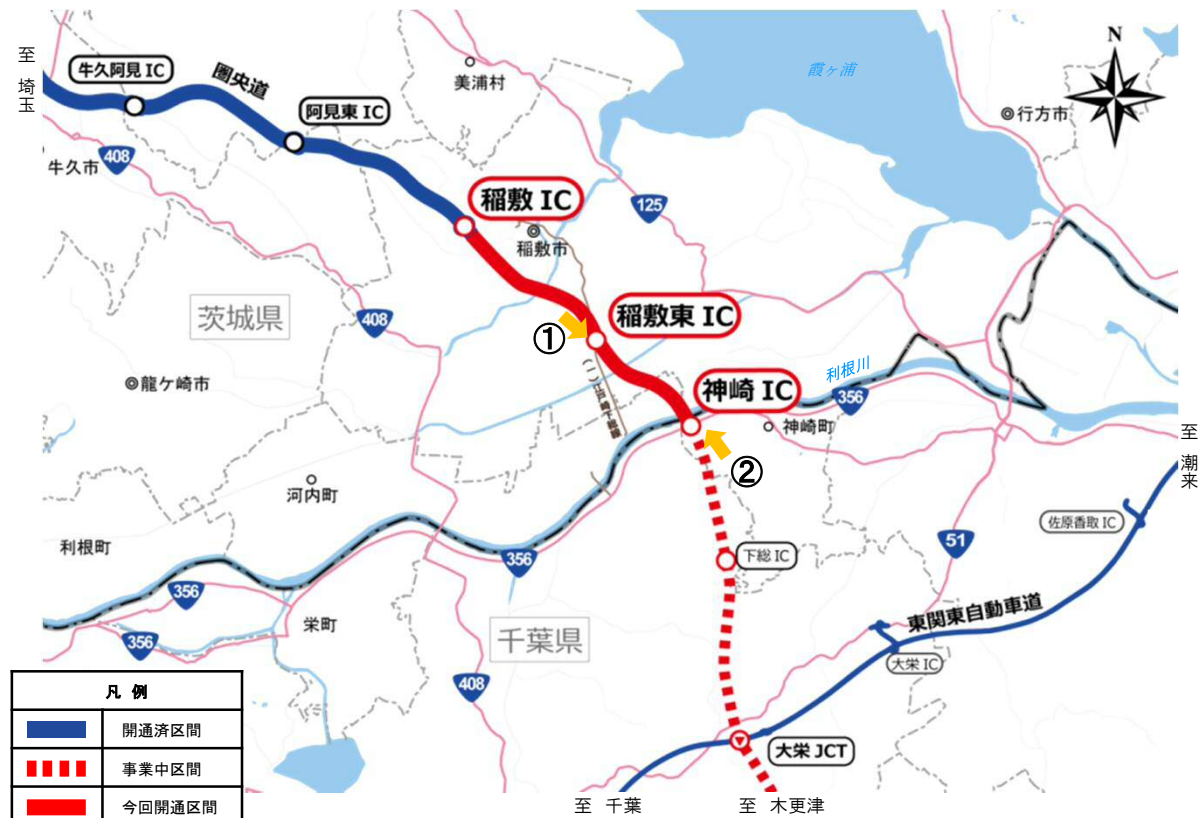


※土地収用法に基づく手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合

■今回開通区間の標準断面図



■今回開通区間の状況



【インターチェンジの状況】



平成26年2月撮影

①稲敷東IC(茨城県稲敷市清水)



平成26年2月撮影

②神崎IC(千葉県香取郡神崎町松崎)

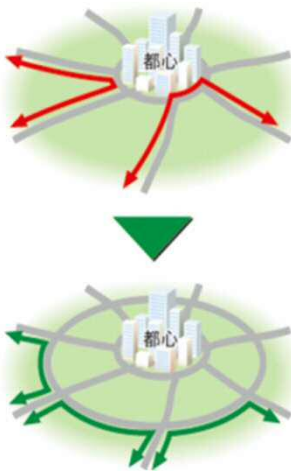
参考 環状道路の役割

- 大都市圏の環状道路は、都心へ集中する幹線道路の交通のうち都心を通り抜ける車をバイパスさせ、都心の交通混雑を緩和する役割や郊外から都心部への交通を分散導入する役割など、集積が著しい都市の成長に不可欠な交通機能を提供します。

■環状道路の役割

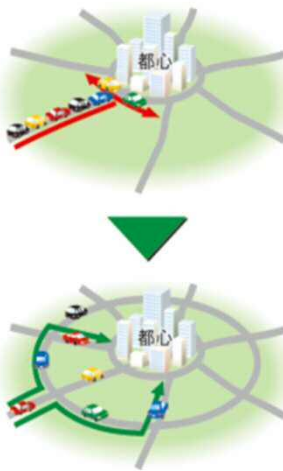
通過交通の抑制

通過交通の都心部流入を抑制する



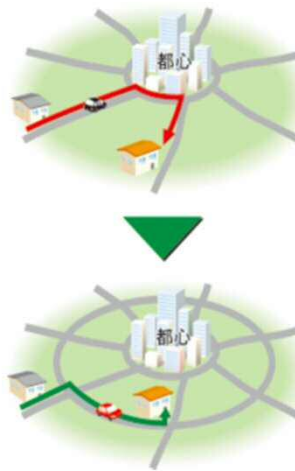
分散導入効果

郊外から都心部への交通を分散誘導する



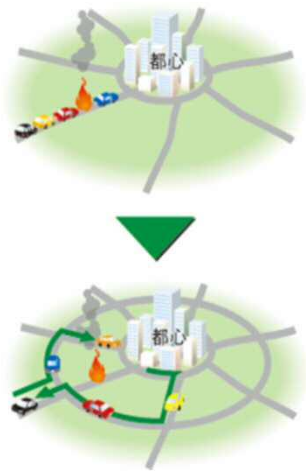
地域間移動

周辺地域間の移動が直接できる



非常時の迂回機能

災害や事故などで一部区間の不通があっても速やかに迂回できる



■3環状9放射ネットワーク構想

